

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和 8 年 4 月分【埋立中共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）、騒音・低周波音】

国土交通省 近畿地方整備局

大 阪 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 騒音・低周波音	II - 10

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和 8 年 4 月（大気質、水質、騒音・低周波音）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1（1）事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

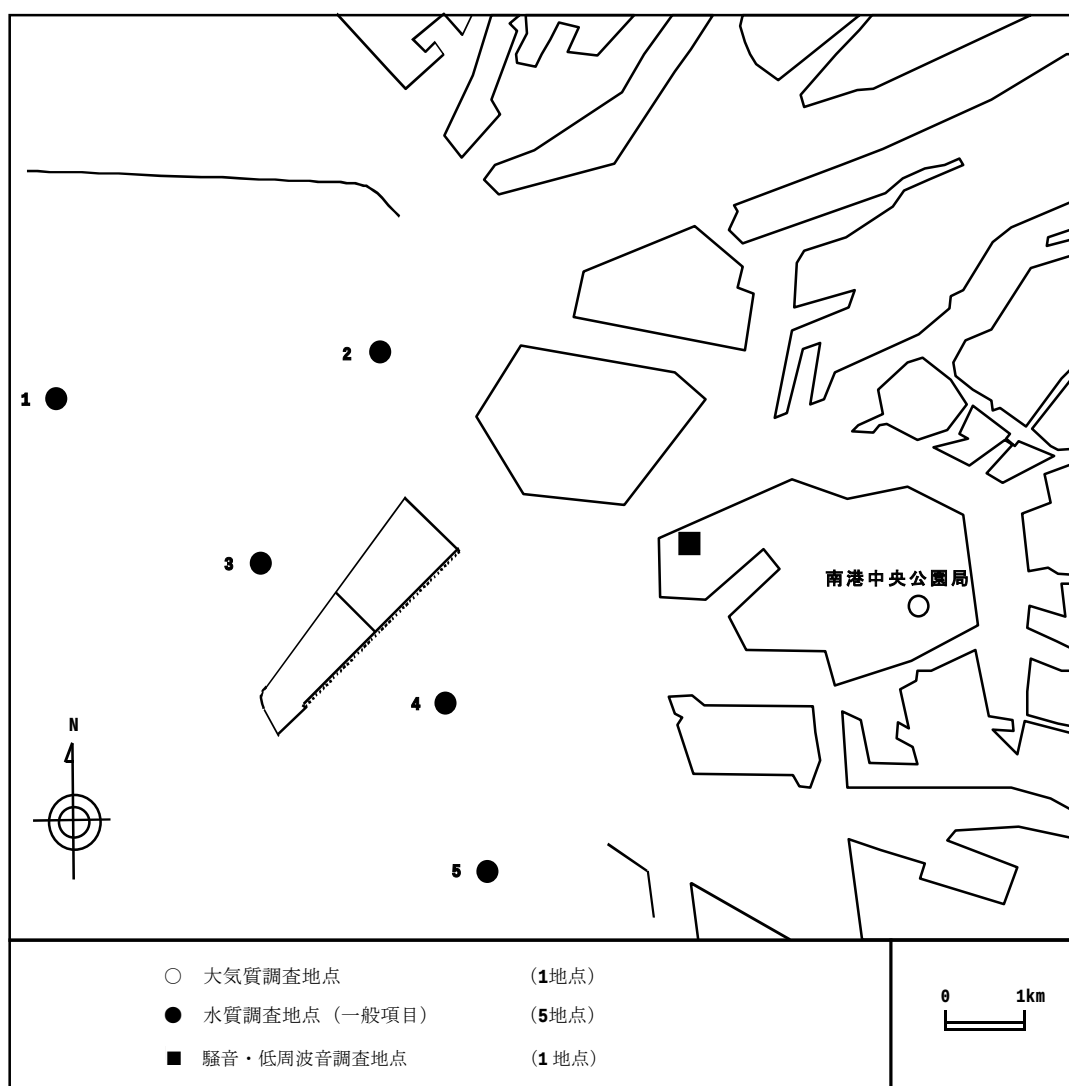
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	4月1日～30日	通年連続

表－1（2）事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層: 海面下1m 下層: 海底面上2m	4月22日	1回／月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

表－1（3）事後調査の概要（埋立地周辺における調査 騒音・低周波音）

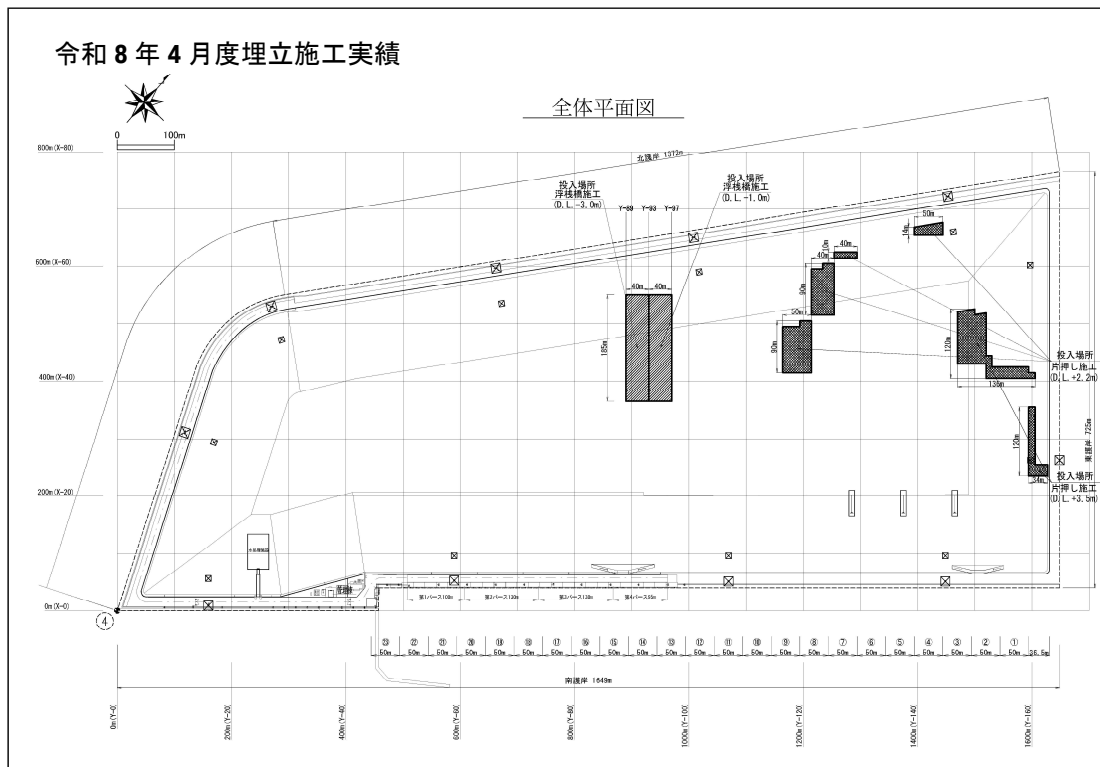
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波音圧レベル	1点 野鳥園臨港緑地(南港野鳥園)	4月16日～17日	2回／年 (4月、10月)



図－1 大気質・水質(一般項目)、騒音・低周波音の調査地点

2. 工事の実施状況

令和8年4月の工事の実施状況は、図－2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
9,030,849.1	64.6

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図－2 工事の実施状況（大阪沖処分場平面図）

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04ppm 以下、1時間値 0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.006ppm、1時間値の最高値は 0.008ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.023ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.048ppm であり、環境基準値の範囲内であった。なお、日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内の基準適合が2日あった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値 0.20mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.015mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.021mg/m³、1時間値の最高値は 0.041mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.2～8.3、下層でいずれも 8.0 であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 4.4～4.8mg/L、下層で 2.2～3.2mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1,5 (4.8mg/L)、調査地点 2 (4.6mg/L)、調査地点 3 (4.4mg/L) 及び調査地点 4 (4.7mg/L)、下層の調査地点 1 (3.2mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 10～12mg/L、下層で 6.9～8.4mg/L の範囲であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.40～0.62mg/L、下層で 0.15～0.25mg/L の範囲であり、上層では

一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 4 (0.62mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.054～0.071mg/L、下層で 0.024～0.042mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1,3,5 (0.054mg/L)、調査地点 2 (0.071mg/L) 及び調査地点 4 (0.062mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.021～0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1～2 度(カリン)、下層で 1～3 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 6～10mg/L、下層で 2～9mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 2.1～7.2µg/L、下層で 0.3～1.0µg/L の範囲であった。

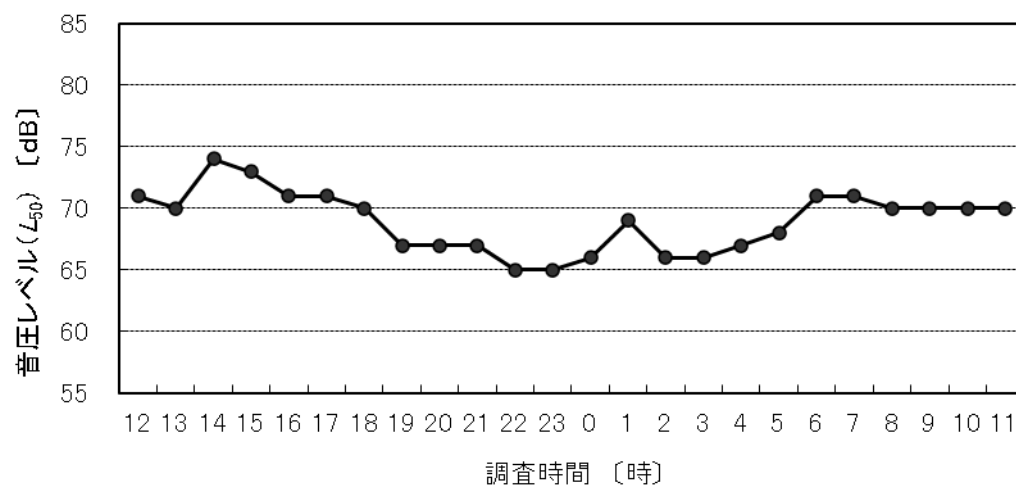
(3) 騒音・低周波音【騒音・振動様式第 1～4 号】

1) 騒音【環境基準値：昼間 60dB 以下、夜間 50dB 以下】

騒音レベル (L_{Aeq}) は、昼間（午前 6 時～午後 10 時）は平均値 45dB、夜間（午後 10 時～午前 6 時）は平均値 41dB であり、昼間・夜間ともに環境基準値を下回る値であった。

2) 低周波音

低周波音圧レベル (L_{50}) は、作業時間帯（午前 9 時～午後 6 時）において平均値 71dB であり、環境影響評価時の予測値 (73dB) を下回る値であった。図－3 に低周波音圧レベルの時間推移を示す。



図ー3 低周波音圧レベル(L_{50})の時間推移

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60dB 以下	50dB 以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前 6 時～午後 10 時 夜間：午後 10 時～午前 6 時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目		事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [－]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1～5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小～最大を示す。

Ⅱ 事後調査結果

大気質様式第 1 号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表〔令和 8 年 4 月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	714
	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	2
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1 時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	714
	1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注) 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和 8 年 4 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	1 (水)	0.004	0.005
	2 (木)	0.004	0.004
	3 (金)	0.005	0.006
	4 (土)	0.004	0.004
	5 (日)	0.004	0.006
	6 (月)	0.005	0.006
	7 (火)	0.004	0.006
	8 (水)	0.004	0.006
	9 (木)	0.005	0.007
	10 (金)	0.004	0.004
	11 (土)	0.004	0.006
	12 (日)	0.004	0.005
	13 (月)	0.006	0.008
	14 (火)	0.005	0.006
	15 (水)	0.004	0.005
	16 (木)	0.004	0.004
	17 (金)	0.004	0.004
	18 (土)	0.004	0.005
	19 (日)	0.004	0.005
	20 (月)	0.004	0.005
	21 (火)	0.004	0.007
	22 (水)	0.005	0.008
	23 (木)	0.004	0.006
	24 (金)	0.004	0.004
	25 (土)	0.004	0.005
	26 (日)	0.003	0.004
	27 (月)	0.004	0.005
	28 (火)	0.005	0.006
	29 (水)	0.004	0.004
	30 (木)	0.003	0.004
有 効 測 定 日 数 (日)		30	
測 定 時 間 (時間)		714	
月 平 均 値 (ppm)		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.006	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.008	
1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	

注) 1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号 (埋立地関連)

一酸化窒素測定結果 [令和 8 年 4 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (水)	0.003	0.007
	2 (木)	0.002	0.012
	3 (金)	0.011	0.074
	4 (土)	0.001	0.002
	5 (日)	0.001	0.008
	6 (月)	0.007	0.060
	7 (火)	0.003	0.010
	8 (水)	0.003	0.017
	9 (木)	0.007	0.025
	10 (金)	0.017	0.052
別	11 (土)	0.002	0.007
	12 (日)	0.000	0.001
	13 (月)	0.011	0.037
	14 (火)	0.006	0.030
	15 (水)	0.005	0.024
	16 (木)	0.002	0.004
	17 (金)	0.004	0.014
	18 (土)	0.002	0.008
	19 (日)	0.001	0.002
	20 (月)	0.002	0.018
値	21 (火)	0.003	0.015
	22 (水)	0.014	0.039
	23 (木)	0.009	0.023
	24 (金)	0.002	0.005
	25 (土)	0.001	0.004
	26 (日)	0.000	0.001
	27 (月)	0.004	0.029
	28 (火)	0.008	0.028
	29 (水)	0.001	0.001
	30 (木)	0.002	0.008
有 効 測 定 日 数 (日)		30	
測 定 時 間 (時間)		716	
月 平 均 値 (ppm)		0.005	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.017	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.074	

注) 1. 1 日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2. 大気質の調査結果 (大阪市環境局による常時測定結果) は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果 [令和 8 年 4 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.022	0.035
	2 (木)	0.016	0.034
	3 (金)	0.026	0.049
	4 (土)	0.016	0.026
	5 (日)	0.014	0.030
別	6 (月)	0.029	0.044
	7 (火)	0.024	0.044
	8 (水)	0.026	0.059
	9 (木)	0.035	0.064
	10 (金)	0.031	0.047
	11 (土)	0.018	0.041
	12 (日)	0.016	0.044
	13 (月)	0.048	0.073
	14 (火)	0.029	0.063
	15 (水)	0.024	0.047
	16 (木)	0.016	0.025
	17 (金)	0.021	0.036
	18 (土)	0.018	0.033
	19 (日)	0.018	0.038
	20 (月)	0.020	0.040
値	21 (火)	0.023	0.054
	22 (水)	0.042	0.063
	23 (木)	0.031	0.065
	24 (金)	0.018	0.028
	25 (土)	0.014	0.032
	26 (日)	0.006	0.014
	27 (月)	0.022	0.065
	28 (火)	0.026	0.046
	29 (水)	0.010	0.015
	30 (木)	0.018	0.031
有 効 測 定 日 数 (日)		30	
測 定 時 間 (時間)		716	
月 平 均 値 (ppm)		0.023	
日平均値の最高値 (ppm)		0.048	
1時間値の最高値 (ppm)		0.073	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		2	

注) 1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第5号（埋立地関連）

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和8年4月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ ／(NO+NO ₂)(%)	
日 別	1 (水)	0.025	88.5	0.042
	2 (木)	0.018	87.5	0.045
	3 (金)	0.037	69.6	0.116
	4 (土)	0.016	95.6	0.027
	5 (日)	0.015	93.1	0.035
	6 (月)	0.036	80.9	0.100
	7 (火)	0.027	88.5	0.052
	8 (水)	0.029	88.3	0.076
	9 (木)	0.042	83.2	0.089
	10 (金)	0.048	65.1	0.099
別	11 (土)	0.020	89.3	0.042
	12 (日)	0.016	97.4	0.045
	13 (月)	0.059	81.2	0.110
	14 (火)	0.035	82.7	0.093
	15 (水)	0.030	81.7	0.065
	16 (木)	0.017	89.9	0.029
	17 (金)	0.025	84.7	0.048
	18 (土)	0.020	90.6	0.035
	19 (日)	0.018	96.4	0.038
	20 (月)	0.021	91.2	0.053
値	21 (火)	0.026	89.3	0.069
	22 (水)	0.057	74.7	0.100
	23 (木)	0.040	77.6	0.088
	24 (金)	0.020	88.9	0.031
	25 (土)	0.015	91.2	0.033
	26 (日)	0.007	93.8	0.015
	27 (月)	0.026	84.9	0.094
	28 (火)	0.033	77.5	0.060
	29 (水)	0.011	94.3	0.016
	30 (木)	0.021	88.1	0.039
有 効 測 定 日 数 (日)		30		
測 定 時 間 (時間)		716		
月 平 均 値 (ppm)		0.027		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.059		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.116		
月 平 均 値 NO ₂ ／(NO+NO ₂)(%)		83.3		

注) 1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. $\text{NO}_2/(\text{NO}+\text{NO}_2)$ の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均值 $\text{NO}_2/(\text{NO}+\text{NO}_2)=$

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和)／

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号 (埋立地関連)

浮遊粒子状物質測定結果 [令和 8 年 4 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別 値	1 (水)	0.007	0.015
	2 (木)	0.011	0.020
	3 (金)	0.019	0.027
	4 (土)	0.015	0.024
	5 (日)	0.010	0.019
	6 (月)	0.021	0.034
	7 (火)	0.020	0.040
	8 (水)	0.015	0.018
	9 (木)	0.019	0.026
	10 (金)	0.021	0.041
	11 (土)	0.016	0.022
	12 (日)	0.015	0.018
	13 (月)	0.016	0.027
	14 (火)	0.020	0.041
	15 (水)	0.010	0.024
	16 (木)	0.013	0.018
	17 (金)	0.017	0.022
	18 (土)	0.014	0.016
	19 (日)	0.014	0.018
	20 (月)	0.016	0.022
	21 (火)	0.015	0.023
	22 (水)	0.016	0.022
	23 (木)	0.012	0.022
	24 (金)	0.012	0.015
	25 (土)	0.013	0.017
	26 (日)	0.011	0.015
	27 (月)	0.009	0.015
	28 (火)	0.018	0.027
	29 (水)	0.016	0.025
	30 (木)	0.007	0.011
有 効 測 定 日 数 (日)		30	
測 定 時 間 (時間)		714	
月 平 均 値 (mg/m ³)		0.015	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.021	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.041	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数 (日)		0	

注) 1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号 (埋立地関連)

気象観測結果（風向・風速）[令和 8 年 4 月分]

測 定 局		南港中央公園			
項 目		風 速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日 別	1 (水)	1.7	2.8	N	NNE
	2 (木)	1.5	2.8	SW	NW
	3 (金)	1.1	2.3	WNW	SE
	4 (土)	1.7	3.7	ESE	NNE
	5 (日)	1.2	2.3	SSW	WSW
	6 (月)	1.1	2.6	WNW	WNW
	7 (火)	1.9	3.7	N	N
	8 (水)	1.3	3.2	WNW	WNW
	9 (木)	1.0	1.7	ESE	ESE
	10 (金)	1.2	3.3	W	WSW
	11 (土)	1.7	3.5	W	SW
	12 (日)	1.2	2.3	NNE	NNE
	13 (月)	0.7	1.3	NNE, WNW	WNW
	14 (火)	1.1	2.4	W	WNW
	15 (水)	1.6	3.0	ENE	NE
	16 (木)	1.6	2.9	N	N
	17 (金)	1.4	2.7	E, WSW	NE
	18 (土)	1.2	1.9	NE	NE
	19 (日)	0.9	2.5	WSW	WSW
	20 (月)	1.3	3.2	ESE	ESE
値	21 (火)	1.2	3.7	N	NNE
	22 (水)	0.7	1.3	W	NNE
	23 (木)	1.8	3.2	NE	NE
	24 (金)	1.6	2.2	N	NNE
	25 (土)	1.3	2.5	ESE	NNE
	26 (日)	1.8	3.4	NE	NE
	27 (月)	1.2	2.9	NE	NNE
	28 (火)	0.9	2.4	W	WNW
	29 (水)	1.3	2.1	NNE	NNE
	30 (木)	1.3	2.0	NNE	ENE
測 定 時 間 (時間)		720			
月 平 均 風 速 (m/s)		1.3			
月 最 大 風 速 (m/s)		3.7			
月 最 多 風 向 (16方位)		NNE			

注) 1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

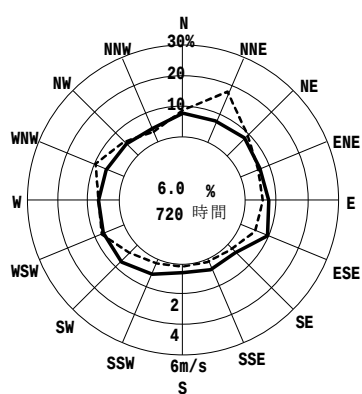
大気質様式第 8 号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速〔令和 8 年 4 月分〕

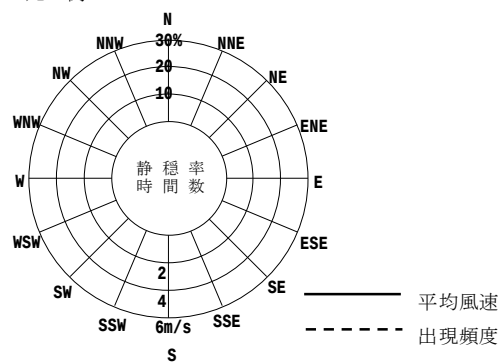
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	124	68	41	38	36	12	6	6	12	26	55	46	71	46	27	63	43	720
頻 度 (%)	17.2	9.4	5.7	5.3	5.0	1.7	0.8	0.8	1.7	3.6	7.6	6.4	9.9	6.4	3.8	8.8	6.0	-
平均風速 (m/s)	1.5	1.6	1.3	1.5	1.8	0.7	0.7	0.6	1.1	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	1.5	0.2	-

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m



凡 例



注) 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図〔令和 8 年 4 月分〕

水質様式第 1 号

水質調査結果（一般項目）〔令和 8 年 4 月分〕

調査日：令和8年4月22日

調査点 項目		1	2	3	4	5	最小値 ～ 最大値	平均値
時刻		8:10	7:55	8:30	9:05	8:50	-	-
透明度 [m]		2.1	2.2	4.0	3.6	3.0	2.1 ～ 4.0	3.0
水温 [℃]		14.9	14.6	14.5	14.5	14.3	14.3 ～ 14.9	14.6
		12.6	12.9	12.7	12.6	12.6	12.6 ～ 12.9	12.7
塩分 [－]		29.2	29.2	30.0	28.1	30.1	28.1 ～ 30.1	29.3
		32.8	32.7	32.7	32.8	32.8	32.7 ～ 32.8	32.8
濁度 [度(カリン)]		2	2	2	1	1	1 ～ 2	2
		3	2	1	1	1	1 ～ 3	2
浮遊物質（SS） [mg/L]		9	10	9	8	6	6 ～ 10	8
		9	8	6	2	2	2 ～ 9	5
水素イオン濃度（pH） [－]		8.3	8.3	8.3	8.2	8.3	8.2 ～ 8.3	-
		8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0 ～ 8.0	-
化学的酸素要求量（COD） [mg/L]		4.8	4.6	4.4	4.7	4.8	4.4 ～ 4.8	4.7
		3.2	2.2	2.7	2.5	2.6	2.2 ～ 3.2	2.6
溶存酸素量（DO）	濃 度 [mg/L]	11 6.9	10 8.0	10 8.4	11 7.4	12 7.7	10 ～ 12 6.9 ～ 8.4	11 7.7
	飽和度 [%]	130 80	118 93	118 97	129 86	141 89	118 ～ 141 80 ～ 97	127 89
全窒素（T-N） [mg/L]		0.45 0.25	0.48 0.15	0.40 0.16	0.62 0.17	0.52 0.18	0.40 ～ 0.62 0.15 ～ 0.25	0.49 0.18
		0.054 0.042	0.071 0.031	0.054 0.024	0.062 0.031	0.054 0.027	0.054 ～ 0.071 0.024 ～ 0.042	0.059 0.031
クロロフィル a（chl.a） [μg/L]		4.2 0.4	2.1 0.7	7.2 1.0	5.8 0.6	7.1 0.3	2.1 ～ 7.2 0.3 ～ 1.0	5.3 0.6

注）上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

騒音・振動様式第1号（埋立地関連）

環境騒音調査結果【令和8年4月分】

調査地点：野鳥園臨港緑地（南港野鳥園）

調査日時：令和8年4月16日午後0時～4月17日午後0時

時間 区分	騒音レベル (dB)												主音源
	L A5			L A50			L A95			L Aeq			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
昼間	48	42	51	43	39	46	41	37	43	45	40	47	鳥、車両、船舶、 周辺施設
夜間	43	41	48	40	38	43	38	36	41	41	38	45	鳥、車両、船舶

注）1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。

2. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

騒音・振動様式第2号（埋立地関連）

環境騒音調査結果【令和8年4月分】

調査地点：野鳥園臨港緑地（南港野鳥園）

調査日時：令和8年4月16日～17日

調査 時間	時間の 区分	地域の 類型	環境 基準値	騒音レベル（dB）				主音源	
				L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}		
12:00～	昼間	C	60dB 以下	46	41	39	43	鳥、車両、船舶	
13:00～				48	44	41	46	鳥、車両、船舶、周辺施設	
14:00～				48	45	43	46	鳥、車両、船舶、周辺施設	
15:00～				49	45	43	46	鳥、車両、船舶、周辺施設	
16:00～				51	44	42	47	鳥、車両、船舶、周辺施設	
17:00～				48	45	42	47	鳥、車両、船舶、周辺施設	
18:00～				50	46	42	47	鳥、車両、船舶、周辺施設	
19:00～				49	44	40	45	車両、船舶、周辺施設	
20:00～				46	41	38	43	車両、船舶	
21:00～				42	39	37	40	車両、船舶	
22:00～	夜間		50dB 以下		46	40	38	43	車両、船舶
23:00～					42	39	37	40	車両、船舶
00:00～					42	39	37	40	車両、船舶
01:00～					41	38	36	38	車両、船舶
02:00～					42	39	37	40	車両、船舶
03:00～					43	40	38	40	車両、船舶
04:00～					43	40	38	41	車両、船舶
05:00～					48	43	41	45	鳥、車両、船舶
06:00～	昼間		60dB 以下		47	44	42	45	鳥、車両、船舶
07:00～					49	44	42	47	鳥、車両、船舶
08:00～					46	43	42	44	鳥、車両、船舶、周辺施設
09:00～					50	44	42	46	鳥、車両、船舶、周辺施設
10:00～					47	43	41	44	鳥、車両、船舶、周辺施設
11:00～					49	41	38	45	鳥、車両、船舶、周辺施設
最 小 値				41	38	36	38		
最 大 値				51	46	43	47		
平 均 値				46	42	40	44		

注) 1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。

2. 環境基準の評価は L_{Aeq} による。

低周波音調査結果【令和8年4月分】

調査地点：野鳥園臨港緑地（南港野鳥園）

調査日時：令和8年4月16日午後0時～4月17日午後0時

音圧レベル（dB）												風速 (m/s)	
L ₅			L ₅₀			L ₉₅			L _{max}				
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大
75	71	80	71	70	74	69	68	71	79	74	87	0.0	2.6

注）1. 平均値は算術平均値である。

2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

低周波音調査結果【令和8年4月分】

調査地点：野鳥園臨港緑地（南港野鳥園）

調査日：令和8年4月16日～17日

調査 時間	音圧レベル（dB）				風速（m/s）	
	<i>L</i> ₅	<i>L</i> ₅₀	<i>L</i> ₉₅	<i>L</i> _{max}	最小	最大
12:00～	75	71	69	78	0.0	1.1
13:00～	78	70	68	82	0.0	2.0
14:00～	80	74	71	87	0.0	2.0
15:00～	76	73	71	79	0.0	2.6
16:00～	74	71	69	84	0.0	1.9
17:00～	74	71	69	77	0.0	1.8
18:00～	72	70	69	76	0.6	1.6
19:00～	69	67	66	80	0.4	1.5
20:00～	69	67	65	72	0.0	1.4
21:00～	69	67	65	73	0.0	0.9
22:00～	68	65	64	72	0.0	1.2
23:00～	69	65	64	70	0.0	0.9
00:00～	67	66	65	71	0.2	0.9
01:00～	71	69	66	73	0.0	0.6
02:00～	69	66	65	70	0.0	1.5
03:00～	68	66	65	69	0.3	1.4
04:00～	69	67	66	70	0.5	1.2
05:00～	69	68	67	70	0.4	1.0
06:00～	73	71	70	74	0.2	0.9
07:00～	74	71	70	76	0.0	0.9
08:00～	72	70	69	74	0.2	0.8
09:00～	71	70	69	76	0.2	1.3
10:00～	72	70	69	74	0.0	1.6
11:00～	73	70	69	76	0.0	0.0
最小値	67	65	64	69	0.0	0.0
最大値	80	74	71	87	0.6	2.6
平均値	72	69	68	75	0.1	1.3

注）平均値は算術平均値である。